

根室⇄釧路 特急ねむろ号
国の補助金削減で存続どうなる？

根室と釧路を結ぶ都市間バス「特急ねむろ号」。今年10月以降の国の補助金が削減されるために、路線の継続が厳しい状況に置かれています。根室市は他の沿線自治体や北海道、事業者と協議しながら存続させる方策を探っています。

国の補助金削減の要因は報道されているとおり、平均乗車数が国の補助基準（5人）を下回るためです。5人以下ならバスは必要無いというのが制度の趣旨ですが、果たしてワゴン車等で輸送したら黒字になるのでしょうか？

なお根室交通によると現在も人員体制は不足しているそうです。さらに従業員の年齢層が高く今後も多くの定年退職者が見込まれています。人手の引き合いでトラック運送に転職する方などもあり、運転手の確保には引き続き大変苦慮しているそうです。

これまでの経過は5月21日の根室市地域公共交通確保対策協議会で報告されました。市の担当課は「情報を市民と共有して、地域交通の課題をオープンな形で議論したい」との考えです。どのような課題があるのか、あらためて考えてみたいと思います。

根室駅前バスターミナル前に停車する「特急ねむろ号」



利用者の大部分は通院利用

道の調査（令和3年度）では根室発の乗客の78%が通院、11%が観光利用。釧路発は64%が通院（帰路）、9%が観光での利用だったそうです。

市立根室病院に無い診療科の受診や入院・手術で釧路の病院を利用しなければならぬ方は今後もいます。交通費や身体的な負担面からも釧路の大病院に直接行ける交通手段は大切です。

今後の費用負担をどうするのか？

他の自治体の理解と協力も必要に

路線の赤字分を国・道・沿線自治体による補助金で補填しています。バスを存続させるためには、これまでの国の補助分も各自自治体で負担する形になります。その場合、浜中町・厚岸町・釧路市は住民があまり乗らない路線の存続に対して補助金を拠出し続けることに難色を示す可能性も否定できません。

ただ浜中町でも釧路に通院する方や観光客もいます。釧路市も道東の中心市として周辺から人が移動して経済活動することが重要との意見もあります。

費用負担増や運航便数の見直しなど
市民の議論で合意をつくる必要が

仮に根室市が補助額を増やすとしてもその財源確保をどのように行うのか。また釧路を朝5時に出る便や、根室を夕方に出発する便は乗客がほぼ0人らしく、費用抑制のため運行便数や時間の見直し等は大切な課題です。現状と今後の対策、利用拡大策などを進めるためには、市民皆さんの理解と議論を深め、合意を作る作業が欠かせません。

北海道の積極的な役割にも期待

根室市は1年かけて実態を調査して、路線の再編を検討したいとしています。しかし10月以降の運行が継続出来るかどうか未だ決まっていらないそうです。

近年、高齢者ドライバーによる不幸な事故が発生しています。北海道も広域的な立場から各自自治体の調整や財源確保など、これまで以上に積極的な役割を果たすことを求めるものです。

落石岬の木道
傷み具合が進行？

抜本的な改修に向け、今年度根室市は「地質調査」を予定



5月26日「第14回おちいし味まつり」が盛大に開催され、晴天のもと大変多くの方で賑わっていました。その帰り、サカイツツジの時期なので久ぶりに落石岬に行きました。昨年花を探すのに苦労しましたが、今年はさらに難しく私のような素人には全然見つけられませんが、たまたま歴史と自然の資料館の外山学芸員さんがエゾシカ等の観察をしていたので聞いてみました。

「先週が見ごろだった」と言いながらも、まだ花が咲いている場所を教えてくださいました。木道の近くに一つ。さらに双眼鏡をお借りして木道から少し離れた場所に咲いているサカイツツジをいくつか観察することができました。

エゾシカに湿原が荒らされている影響からサカイツツジも年々減少しているのかもしれない、と外山さんは話していました。

教えてもらってようやく見つけたサカイツツジ。白黒写真だと絶対分らないと思いますが、心でご覧ください。



事故防止で、危険な天板を取り外す

それよりもさらに驚いたのは、落石岬に続く木道の状況です。写真のように、天板が無く、地面に迂回路が作られている場所が何か所もあります。

高さ数十cmの木道と迂回路を何度も登ったり下ったり。天板のあるところもいつ板が抜け落ちるかと思うとちょっと景色を楽しむ余裕はありません。その日はシニア世代の観光客も何組か訪れていましたが、みなさん恐る恐る木道を歩いていました。

市担当課によると「木道の土台から腐っている部分もあり、点検して損傷や抜け落ちそうな天板を事故防止のため、先に職員が外して迂回路を作った」とのこと。通行止め等にはせず、通常の補修を行なう予定だそうです。

抜本的な改修は今後の課題

落石岬の木道は建設から約30年ほど経過していますが、自然環境が厳しい場所のため劣化・老朽化が激しい施設です。毎年の簡易的な補修では追い付かず、抜本的な整備をどうするのか長年の課題でした。そうした中で今年度根室市はまず地質調査の実施を予算化しました。しかし本格的に改修するには多大な費用が必要で、また完成まで何年もかかることでしょう。

その間も市民や観光客が安全に通行できるように、市には引き続き適切な管理をされることを期待しています。